



「痛みがなくなってラッキー」は大間違い!大切な歯の神経



こんにちは。
10月15日は「世界手洗いの日」です。
正しい手洗いを広めるため、
2008年にユニセフなどが決めました。

**石けんで手を洗うことの大切さや
正しい手洗いの方法を正しく伝える活動が
行われています。**

大切といえば、
歯の神経もご自身の歯を
使い続けていただくために
とても大切な役割を担っています。

♥ 神経の役割とは!?

歯の神経には「痛み」や「しみる」といった、
感覚を伝える役割があります。

痛みを感じるくらいなら、
神経なんてない方がいい

と思う方もいらっしゃるかもしれませんが
それは大きな間違い。

「痛み」や「しみる」といった
感覚があるからこそ、
むし歯に早く気がつくことができます。



♥ 他にもこんな役割が!

神経には歯に栄養を運ぶための
血管も通っています。

しかし、神経をとる治療をすると、
この血管も失われてしまいますので
歯に栄養が行き届かなくなります。

すると、
神経をとった歯は枯れた木のように
もろく、欠けやすくなることも。



丈夫な歯を保つためには
神経を守っていくことも大切なのです。

♥ 神経をとらないといけないことも…

**むし歯ができてしまっても
大切な神経を残すことができるよう
歯科医院では最善を尽くしています。**

しかし、むし歯が大きくなり、
神経を傷めている場合などには
やむを得ず、神経をとらなければなりません。

神経をとると、
痛みを感じにくくなりますが
その後むし歯にならなくなる
わけではありません。

むしろ、
神経をとった歯は
むし歯になっても気がつきにくいので
発見が遅れてしまいがち。

早期に発見するためには
歯科医院でのチェックが
必要不可欠です。

**ぜひ、定期的にご来院いただき
皆さんの大切な歯と神経を
守っていきましょう。**

**SEE YOU
NEXT TIME**

